オーケーの花王製品販売中止に関する調査を実施

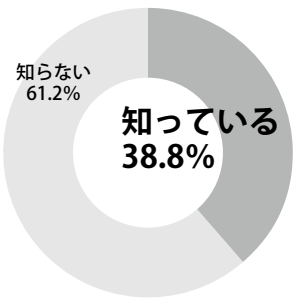
mitoriz

フィールド・クラウドソーシング事業を展開するｍｉｔｏｒｉｚは、2月16～17日にかけて、全国の消費者1884人（関東41・7％、関西21・7％、中部15・1％、九州7・6％、中国四国5・0％、東北4・7％、北海道4・2％）に対して、オーケーによる花王製品の販売中止に関するアンケート調査を実施した。それによると、「オーケーによる花王一部製品の取り扱い中止に関するニュース」の認知度は、全体で38・8％となり、関東在住者では46・1％となった。

直近半年以内にオーケーで花王製品の購入経験がある108人に、この報道を受けてどう感じたか尋ねると、「原材料や物流費の高騰による値上げは仕方がないこと」（43・0％）が最も多く、「いつも買っていた花王製品の扱いがなくなると困る」（31・8％）、「エブリデーロープライスを買いていると思う」（30・8％）を挙げる割合も多く、「オーケーの商品は他社よりも安いため、花王製品が値上げになってもあまり気にしない」（28・0％）、「価格が高くなってもいいから

2/16に報道された首都圏地盤のスーパー「オーケー」が取り扱う花王商品の一部の取り扱いを取りやめると発表したニュースをご存知ですか？

（N＝1884人）



いつも買っていた花王製品を置いてほしい」（17・8％）といった要望も少なくなかった。

また、オーケー来店時に購入予定の花王製品がなかった場合、「購入予定だった花王製品を他のお店で買う」が57・0％と過半数を超え、「他社メーカーの同様の製品をオーケーで買う」（36・4％）を約20P上回った。

コメント

の詳細をみると、「我が家は花王製品をたくさん使用しているので、花王製品が棚になければ、花王製品と食品等を一緒に購入できるお店に変えるかもしれない」（50代女性）、「近所のドラッグストアで割高にはなるが購入せざるを得ないと感じた」（50代男性）など、花王の商品やブランド対するロイヤルティが高い消費者では購入店舗が替わることが伺える一方、「仕入れ値の高騰によって取り扱いなくなることは、これまでにもあったので気にならない」（30代女性）、「花王の商品がなくなったとしても、買い物に行く頻度は変わらない」（40代女性）など、商品の入れ替えや選択肢が減ったとしても利用し続けるといった意見も挙がった。

キティー　母親から受け継がれる乳酸菌 クリスパタス菌を配合した原料

乳酸菌やビフィズス菌などの機能性食品原料や化粧品向け原料を展開するキティーは、新製品「ラクトコスメ乳酸菌」の提案を開始した。殺菌体の乳酸菌を配合した粉末製品で、オーラルケア効果やスキンケア効果が期待できる。

キティーは、「ラクトコスメ乳酸菌」を新たに提案する。クリスパタス菌KT―11株の加熱殺菌粉末で、1グラム当たり4000億個以上の乳酸菌を含む。オーラルケア効果や皮膚バリア機能向上効果、ヒアルロン酸産生促進効果などが確認できている。

乳酸菌というとヨーグルトや漬物など発酵食品のイメージが強いが、同品に配合されているクリスパタス菌は女性の産道に多く存在する珍しい乳酸菌種で、女性を感染症などから守る役割を果たしている。

赤ちゃんが生まれてくる際に、このクリスパタス菌が産道を介して母親から赤ちゃんに受け継がれることが示唆されており、さらにクリスパタス菌は赤ちゃんをアレルギーなどから守る役割を担っていると考えられている。

KT―11株を発見した経緯については、同社の研究員がアレルギーを抑制する素材を探していた際に、赤ちゃんの分娩経路によってアレルギーの発症リスクに差があるという知見に着目をしたという。帝王切開で生まれてきた赤ちゃんは自然分娩で生まれてきた赤ちゃんと比べてアレルギーの発症リスクが約1・8倍も高いというデータが得られており、そこから、自然分娩で生まれてくる赤ちゃんは何かアレルギーを抑制する要素を持っているのではないかと考え、健康な乳幼児の腸内細菌を解析した。

その結果、アレルギーを抑える乳酸菌「ラクトバチルスクリスパタスKT―11株」を発見した。また、KT―11株は信州大学との共同研究によって開発され、学会発表なども行われている。

同社では、食品として機能性が確認された「クリスパタス菌KT―11株」について、美容を支える化粧品原料としての研究を行い、オーラルケア効果やスキンケア効果を確認した。

化粧水・乳液・クリームをはじめとしたスキンケア製品や白やけ止めのほか、歯磨き粉などのオーラルケア製品にも採用されている。

ポーラ　シワ改善薬用化粧品市場で売上金額シェアNo.1を獲得

ポーラのシワ改善薬用化粧品「リンクルショット メディカル セラム」は、シワ改善薬用化粧品市場における年間ブランド別売上金額シェアNo.1（インテージSLI、シワ改善市場、2021年1～12月）を獲得した。

2021年のシワ改善薬用化粧品市場が前年比145％（約228億円）と大きく伸長する中、リンクルショット メディカル セラムは構成比27・5％でNo.1のシェアを占めた。

日本で初めてシワを改善する医薬部外品有効成分として認められた独自成分「ニールワン」を配合する同品は、2017年にシワ改善市場を切り開いたパイオニアであり、さらなる効果実感を求めて2021年1月にリニューアルしていた。

初代発売時から累計販売数は約346万個にのぼり、約144万人が体感している。また、ベストコスメは、初代からの累計で75冠、リニューアル品のみで24冠を達成している。